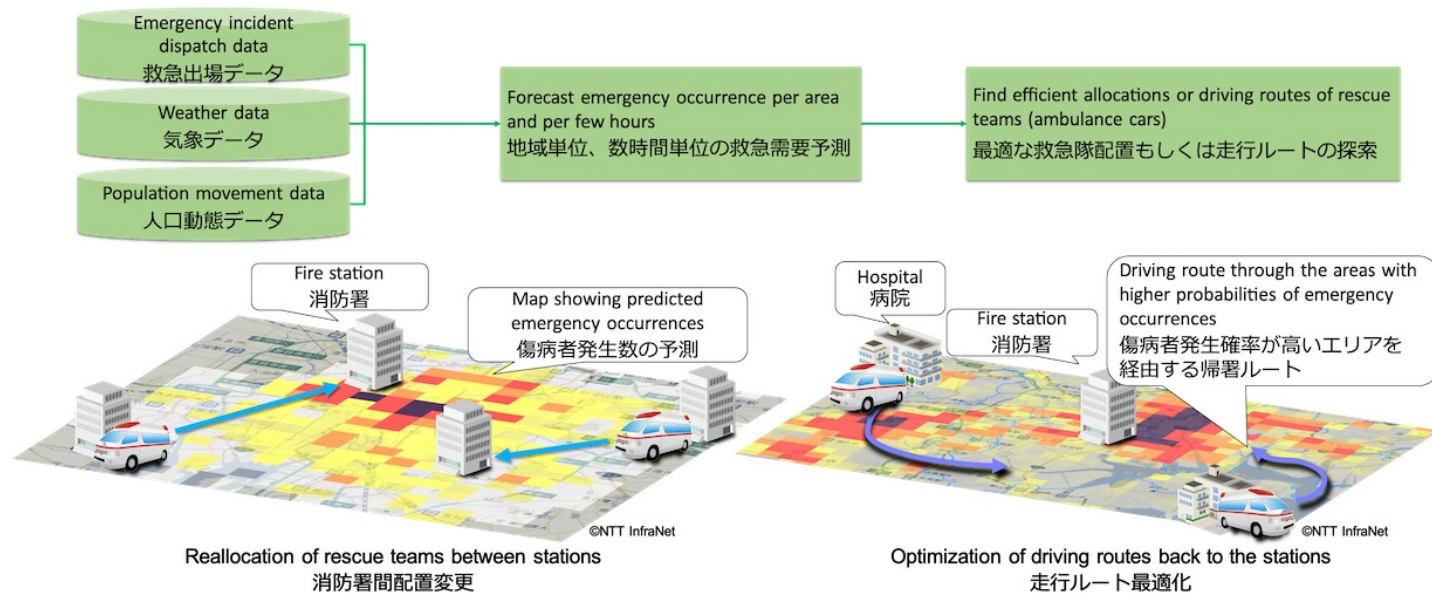




ビッグデータを活用し、救急隊の現場到着時間を短縮します

概要

過去の膨大な救急搬送データや救急需要に影響を与える気象データなどを活用して時々刻々と変化する地域ごとの救急出動件数を予測し、それに見合う救急隊の最適配置を求めることで、限られた救急リソースの効率的な運用を可能にします。その結果、救急隊が救急現場に到着するまでの時間を短縮できます。



出展社

日本電信電話株式会社、株式会社エヌ・ティ・ティ・データ

特徴

- 地域メッシュ単位、数時間単位の救急需要を予測
- 市区町村ごとのさまざまな制約にも対応した最適な救急隊配置を提案

利用シーン

- 限られたリソースを有効活用するための数時間ごとの救急隊配置変更運用
- 中長期的な救急隊配備計画の策定にも活用可能

今後の展開

- これまでは名古屋市で実証実験を進めてきましたが、これからさまざまな地域において本手法の有効性を検証するとともに、実用化に向けた検討を進めていきます。

コラボレーションパートナー

- 総務省消防庁 消防大学校 消防研究センターの知見と、NTTグループのデータ分析技術を合わせ、世界最先端の救急サービスの実現をめざしています。

問い合わせ先：
rdforum-sv-ml@hco.ntt.co.jp